

令和3年度 第1回川崎市立病院運営委員会 意見照会結果一覧

御意見等	対応等
<p>策定方針、体系の見直し等については、概ね妥当なものと思われる。ただし、評価軸の設定、評点、指標・数値基準等については、業務改善の意欲を削がないように市の全体方針や手順と整合をとりながら、一層の工夫を期待する。</p>	<p>評価方法や評価基準については、庁内で行う他の点検・評価書なども参考に、新たな評価方法、評価基準を検討します。</p>
<p>P.1 川崎病院の次期計画に向けた取組中の「待ち時間対策」について、大いに期待しています。</p> <p>待ち時間の問題は、多くの医療機関の外来患者満足度調査において「不満の原因」となっている。診療効率を上げるだけでなく、長時間に渡り、待合室での外来患者の拘束感を遡減させる工夫が望まれる。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 診療の順番の見える化 <ul style="list-style-type: none"> ex. 大手ファーストフードチェーンの番号表示システム (2) 待合室に長時間拘束しない為の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ex. PHSの貸与又は外来患者所有のスマホ端末への連絡方法の確立 (SNS等のアプリ活用) <p>コロナ禍の中、「密」を回避するためにも、他病院も含めて早急に検討する必要があると思われる。</p>	<p>診療の順番の見える化の方法として、スマホアプリを全診療科に導入しています。これは、医師の診察の順番が近づくと通知が届くほか、おおよその診察順番を確認できる仕組みです。</p> <p>また、外来での公衆無線LANは、川崎病院及び井田病院では導入済みであり、多摩病院においても今年度中に導入する予定です。</p> <p>そのほか、川崎病院ではデジタルサイネージによるニュース等のリアルタイム配信も行っています。</p>

御意見等	対応等
<p>(案)に賛成です。</p> <p>P6の取組課題2には3の(1)人材の確保・育成も同じように関係すると思います。重なりますが、3の(1)としてと合わせ2の地域完結型医療の推進に(3)として、人材の確保・育成が紐づけられないでしょうか。</p> <p>基本方針2を拝見しても地域の医療や介護につなぐ役割機能としての人材の確保を地域完結型医療の推進に表現してもよいのではないかと思います。</p>	<p>御指摘のとおり、「人材の確保・育成の推進」は、いずれの取組課題にも関係する取組です。地域完結型医療の推進と人材の確保・育成の推進が紐づけられるよう、各取組課題における主な取組や取組指標での表現を検討してまいります。</p>